



- 14 地域で育む子育て環境
- 15 心豊かな思いやりをもった子どもの育成
- 16 子どもの自立成長を促す学校教育
- 17 手を取り合い創造性を育む文化芸術

PickUp事業

カリンバ遺跡



カリンバ遺跡は、縄文時代後期末(約3,000年前)の土坑墓群が発見された遺跡で、一つの穴に2人以上埋葬した大型合葬墓も4個確認されました。そのうち大型合葬墓3個に埋葬された人たちは、漆塗りの櫛や腕輪、腰飾り帯など数多くの漆塗り装身具を身につけていたのです。カリンバ遺跡で見つかった縄文時代の漆塗り装身具は多種多様で、質・量とも前例のない素晴らしいものであったことから、平成17年に遺跡の大部分が国の史跡に指定。遺物は翌年に重要文化財に指定されました。

Karimba Archaeological Site
A burial ground from the late Jomon period (about 3000 years ago) has been unearthed in Eniwa. In 2005, most of the archaeological site was designated as a National Historic Site. The ruins were designated as a National Important Cultural Property in the following year.

PickUp事業

通学合宿・体験合宿



通学合宿は、地域住民有志が「地域の子どもは地域の大人が育む」という考えと、「子どもの気持ちに寄り添うきっかけづくりをしたい」という思いから、平成15年に神社を会場に実施したことをきっかけとして始まりました。翌年から恵庭市青少年研修センターに会場を移し、「えにわ通学合宿」と名を変え、行政と地域住民による実行委員会の共催で3小学校区を対象に実施してきました。平成25年度には、より地域に根差した通学合宿を目指し、「えにわ通学合宿」を発展的に解消。「地域の子どもは地域で育てる」をコンセプトに、小学校区ごとの開催へと形を変えました。令和元年度には、6小学校区で地域住民が主体的に企画・運営し、通学合宿や体験合宿として実施しています。現在は、地域住民のほか、大学生や成長した過去の参加者もボランティアとして参加するなどの広がりがあるほか、地域と子どもがつながる場になり、そこから地域と家庭がつながっていく場にもなっています。

School Camp and Experience Camp
We conduct annual school camps and experience camps under a theme of "raising children with the whole community." In 2019, six elementary school districts participated in the event, with local residents taking an active role in planning and management.

通学合宿を通して子ども、学校、地域、保護者がつながり共に成長していければ良いなと思っています。

地域の子供たちに何か出来ないかなと考え、学生から高齢の方まで様々な年代の有志が集まり、始まったのが恵庭地区通学合宿です。各町内会からも協力いただき多くの人の支援で通学合宿は行われています。通学合宿中は地域の方々が、通学の付き添い、食事の支援、児童たちをよそのお風呂に入れてもらう「もらい湯」などで協力してくれています。「もらい湯」では、最初は恥ずかしがっていた児童たちも帰ってきたときには「楽しかった」と言ってくれます。児童を受け入れてくれた地域の方もお風呂に入った後の児童と交流し、仲良くなり、通学合宿が終わった後も挨拶など日常的に交流をしてくれています。通学合宿を通した子どもたちの成長も大事ですが、子ども、学校、地域、保護者がつながり共に成長していければ良いなと思っています。



恵庭地区通学合宿実行委員会
太田実保さん

PickUp事業

ブックスタート



恵庭市では、市内で生まれたすべての赤ちゃんに読み聞かせ体験をプレゼントするために、9・10カ月児の健診会場で「ブックスタートパック」を渡しています。中身は絵本2冊と絵本ガイド、図書館の利用者カード申込書、子育て支援機関のチラシなど。かわいいラッコのコットンバッグ付です。赤ちゃんの体の発達にミルクが必要なように、赤ちゃんの心と言葉を育むためには、豊かな愛情と身近な人からの「ことばかけ」が大切。このことで、赤ちゃんは愛されていることを感じ、満足し、やがて人への信頼感を育てていきます。そんな、赤ちゃんと保護者が、絵本を介して、心ふれあう時間を持つきっかけを届けるのが「ブックスタート」です。

Book Start Program
To create an opportunity for parents and their babies to communicate through reading picture books together, the city provides a Book Start Pack for children at their 9/10-month health checkups.

恵庭市は私たち市民にとって本が身近にあるまちです。

えにわゆりかご会は、現在30名の会員が所属し、ブックスタートのお手伝い、子育て支援センターで行っている乳幼児への読み聞かせ、自主事業の企画運営、情報誌の発行などを行っています。恵庭市は「読書のまち」と言われていますが、20年以上前は、そうではありませんでした。市内で生まれた赤ちゃんに絵本をプレゼントするブックスタートは、2001年4月から本格的にスタートしましたが、絵本の読み聞かせの時間を通して、赤ちゃんを健やかに育ててほしいという願いが、20年間ずっと引き継がれています。そして、ブックスタートで育った子どもたちに学校でも変わらず本を読んでほしいと、私たち市民の声が高まり、小中学校の学校司書配置へとつながりました。えにわゆりかご会の中には学校での読み聞かせを行っている会員もいます。近年では、まちじゅう図書館で多くのお店や銀行など様々な場所に本が設置されるようになりました。そうして、だんだん本が身近にある「読書のまち」になってきたのだと思います。



えにわゆりかご会 会長
平井立さん